

平成22年5月24日14時発表  
国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

## 下笠ダムによる洪水調節効果で小淵地点の最高水位を低減

- 前線の影響により、下笠ダム上流域では5月22日17時頃から雨が降り始め、24日10時までの累計雨量は下笠ダム流域で329mmに達しました。

- **下笠ダムでは5月23日13時08分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始し、下流へ流れる水量（ダム通過量）を最大流入時に約50%に抑えました。**
- **この結果、ダム下流の小淵地点（日田市）で最高水位を約40cm低減させたと推測しています。**

- ・九州地方に接近した前線の影響により下笠ダムでは5月22日17時頃から雨が降り始めました。
- ・下笠ダムでは、ダムに入ってくる水量（流入量）が毎秒350立方メートル（洪水調節開始流量）に達した5月23日13時08分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- ・その結果、5月23日16時44分頃下笠ダムへの最大流入量約毎秒672立方メートルのうち、毎秒327立方メートルをダムに貯留することで、下流に流す量を345立方メートルまで低減する操作を行いました。
- ・その効果は、日田市の「小淵水位観測所」で最高水位を約40cm低下させたものと推定されます。

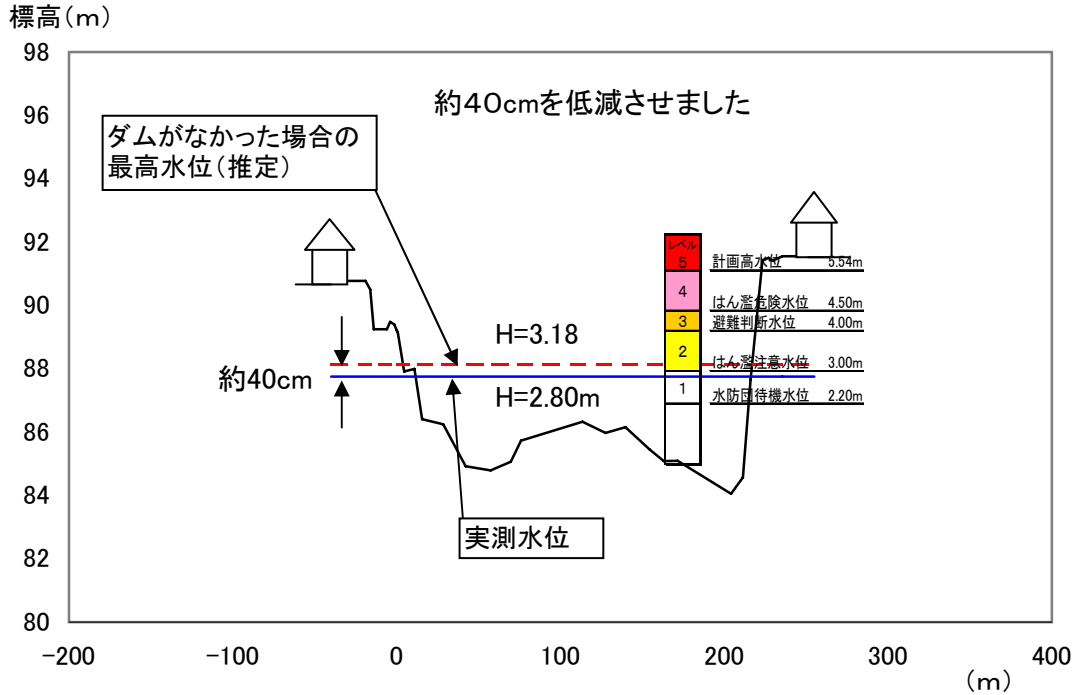
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

項目		数値	備考
下笠ダム上流域 平均雨量	総雨量	329mm	5/22 17:00～5/24 10:00
	最大1時間雨量	17mm	5/23 4:00～5:00
下笠ダム	最大流入量	毎秒 672 立方メートル	5/23 16:44 頃
	最大流入時放流量	毎秒 345 立方メートル	最大流入量の約 50%
	最大流入時調節量	毎秒 327 立方メートル	
小淵※ 水位 観測所	観測最高水位	2.80m	水位危険度レベル 1
	ダムが無かった場合の 最高水位（推定）	3.2m 程度	水位危険度レベル 2
	洪水調節による 水位低減量（推定）	約40cm	

※ 小淵水位観測所：大山川と玖珠川の合流点より、約0.5km下流  
※ 速報値のため各数値は変わる場合があります。

**下笠ダムの洪水調節状況**  
**最大流入時のダム通過量を約50%に抑え、**  
**下流の水位危険度をレベル2からレベル1に軽減**

○小湫水位観測所地点における下笠ダムの効果図（推定）  
 大山川と玖珠川の合流点より、約0.5 km下流



○日田市小湫地点平面図



※降雨などによって河川の水かさが増し、水防関係者が水防活動の準備を始める水位のことを**水防団待機水位**、災害の恐れがある水位のことを**はん濫注意水位**といい、さらに水かさが上昇し氾濫の恐れがある水位のことを**はん濫危険水位**といいます。